

事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和3年3月12日

事業所名 すみだ福祉保健センターみつばち

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10	8		<ul style="list-style-type: none"> 現在の療育種別(PT・OT・ST・心理)の各割合であれば適切。今後、心理利用児が増えると構造的に密となる。 部屋が広すぎる。活動によって区切って使用。
	②	職員の配置数は適切であるか	4	13		<ul style="list-style-type: none"> 自閉スペクトラム症の診断基準に感覚面の問題が入っているにもかかわらず、作業療法士が1名しかいない。 心理利用児が増えると不足する。 利用児の申込数が増大している。 全体の運営(立案、準備、実施、支援等)で考えると少ない。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	10	<ul style="list-style-type: none"> トイレ、下駄箱、廊下に視覚支援を行っている。 移動できるものは、その都度片付ける等している。 	<ul style="list-style-type: none"> 各指導室の視覚支援は不十分。 利用者にとっても、支援者にとってもバリアフリーの観点から配慮不足。 施設が老朽化している。 親子通園の施設だが、大人のトイレが園外にある。 部屋によっては、物が多すぎることで集中しづらい空間になっている。 子どもが物を自分で取り出せるような状況のため、場合によっては危険。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	11	6	<ul style="list-style-type: none"> 移動できるものは、その都度片付ける等している。 	<ul style="list-style-type: none"> 清掃業者が入っているため、最低限度は清潔さが保たれているが、療育中は清掃することが難しく、砂や髪が落ちている。 清掃は外注であるが、万全とは言えない。しかし、外注を補完するほどのマンパワーも足りない。新しい生活様式に合わせた見直しを要する。 細かなところは手が回らない。 部屋によっては、物が多すぎることで集中しづらい空間になっている。 子どもが物を自分で取り出せるような状況のため、場合によっては危険。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	11	7		<ul style="list-style-type: none"> 課長が何かにつけて「部長と主任」と言い、十分に担当職員やその他の職員からの意見の吸い上げを行わない。 職員は参画しているが、サイクルが機能するかは管理者の方針に左右される。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	15	2		
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	15	2		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	15	1		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	16	1		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	18	0		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	14	3		・使用しているが、全体で共有できているかは不明。 (直接処遇以外の職員を含む)
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15	3		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	17	1		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	15	3		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	16	2		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	17	1		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	17	1	・毎日Grミーティングや朝礼を行い、支援内容や役割分担、特記事項を確認している。 ・集団療育についてはなされている。	・個別療育については各担当者ごとの準備に一任されており、明確な打ち合わせの場はない。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	16	2	・集団療育についてはなされている。	・個別療育については各担当者ごとの準備に一任されており、明確な打ち合わせの場はない。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	17	1		
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	17	1			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	14	3		・その他、課長も参画することが想定されている。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	18	0	・電話連絡を主に連携を図っている。 また、公開療育を実施している。	・要保護児童対策地域協議会、地域療育連絡会で 行っている。
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	10	0		
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	9	0		
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	17	1	・就学相談等で行っている。	
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	17	1	・保育所等訪問支援も含めて行っている。	
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	14	4	・今年度はコロナの感染予防対策について、他の児童発達支援センターから情報を得た。 ・TOSCAの研修等に参加している。	
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	9	8	・今年度はコロナの感染予防対策のために中止となったが、センターまつりを実施し、障害のない子どもも体験スペースで活動に参加する機会を設けている。 ・地域開放行事としてのセンターまつりで療育体験の場を設けている。 ・公開療育を実施している。	
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	12	5	・要保護児童対策地域協議会や地域療育連絡会へ参加している。	
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	17	1	・日々の療育の場での共有の他、保護者交流会、公開療育、保護者勉強会を設け、共有を行っている。	
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	5	12	・保護者交流会の開催。今年度はコロナ感染拡大防止のため資料を配付予定。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	16	2	・運営規程については、契約書、重要事項説明書に内包されたもので説明している。	
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	17	1	・契約書等で同意を得ている。	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	18	0	・モニタリング等で行っている。	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	16	2	・保護者交流会を実施している。 ・直接的な仲介は行っていないが、相談助言は対応している。	
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	18	0		
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	17	1	・みづばちだよりを発行している。	・ホームページを活用しておらず、個別利用児への連絡や、都度変化する状況への連絡が不十分。 ・カルテをしまうキャビネットが故障している。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	17	1		
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	18	0	・個別対応を含む柔軟な対応を行っている。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	14	3	・センターまつり、公開療育、見学対応を行っている。	
	非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	16	2	・訓練を実施してから数年経過している。 ・訓練は防災避難訓練のみ、消防計画により行っている。
④②		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	18	0	・訓練は防災避難訓練のみ、消防計画により行っている。	
④③		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	18	0		・保護者自身の健康状況に対しても事前の確認が必要。
④④		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	17	1	・かかりつけ医の指示書に基づいて対応している。	
④⑤		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	18	0	・ヒヤリハット検討会を行っている。	
④⑥		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	18	0		
④⑦		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	9	7	・子ども同士の安全面を考慮して、保護者にお子さんをおさえてもらう場面がある。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。